

謹んで阿弥陀如来宗祖親鸞聖人ならびに三世十方の諸仏如来に
申し上げます

本日ここに親しく宗祖親鸞聖人のまえに坐すことを得て金戦没者
追弔法会を厳修いたします。このときにあたり一つには過去の罪障を
懺悔し二つには現在の過法を慶喜び三つには将来に同朋社会の實現を
期したいと存じます

第一に過去の罪障を懺悔するとはわれらの宗門が先の悲惨な侵略戦争に
自ら荷担しそれを「聖戦」と呼び「まったくおおせにてなすことをわ
おおせとのみもうす」罪を犯したことであります

実に五逆謗法の咎逃れがなく今更めて金戦没者の悲しみを憶念し
ここに真宗大谷派が無批判に戦争に荷担した罪を表明し過去の
罪障を懺悔いたします

第二に現在の過去を慶喜ぶとはそのわれらの罪障にも拘らず「謗法
・闍提回心すれば皆往く」の金言が示す如く如来の本願はその罪を
私たちに知らしめ罪に向き合い平和への道を歩ましめるのであります
この五濁の世にあつて過去の罪障を我が身にひき受けて金戦没者の
心奥の願いと共に浄土に向かつて立ち上がることができるのであります

第三に同朋社会の實現を期すとは本願念仏の教法に生まる者は「四海の
内みな兄弟とするなり」という浄土の莊嚴功徳をこの身に受け死者と
生者が一つに出合い国家や民族の境を超えて「同朋社会」の實現に
向かつて生まる者となるのであります

われら真宗門徒ここに非戦平和の誓いを表白しひとえにこの身と
この世の無明の闇を照らす仏の教えに随いともには生まるあなる世界への
道を歩まんことを誓うものであります